

みなと区議会だより

Ⓜ No.158 2004年(平成16年) 11月1日

港区議会 / 〒105-8511 (専用郵便番号) 港区芝公園1-5-25 電話 (3578) 2111(代) <http://www.gikai.city.minato.tokyo.jp/>

第3回定例会

9月16日~10月6日



平成15年度一般会計ほか 各会計決算を認定

米軍ヘリポート基地の使用中止および早期全面撤去を求める要望書を提出

平成16年第3回定例会は、9月16日から10月6日までの21日間にわたって開会されました。

初めに、10人の議員から区長、教育長及び議長に対して、代表・一般質問が行われました。

質問は、基金の有効活用、安定した財政基盤の維持、PFI事業・指定管理者制度の導入、平和に関する取り組み、区政の民主的運営、「みなとタバコルール」の方向性でモデル地域の拡大、高齢者施策の拡充、魅力ある図書館についてなど区政全般にわたりました。

(要旨3面〜5面参照)

平成15年度の一般会計、国民健康保険事業会計、老人保健医療会計、介護保険会計の各決算は、特別委員会を設置して審査し、いずれも認定しました。

(概要6面〜7面参照)

そのほか、区長から提出された案件を審議した結果、条例など6件・補正予算1件を原案どおり可決しました。

(詳細8面参照)

皆さんからの請願は、7件を採択、32件を継続審査としました。(2面参照)

議員提出による案件は、意見書など5件を可決し関係機関へ送付しました。

追加提出された人事案件は、収入役の選任、教育委員会委員の任命に同意しました。

代表・一般質問

(要旨)

9月

16・17日

区民の高い満足度を獲得できるよう基金の有効活用を

自民党議員団

質問 本区の平成15年度決算の財政指標は、平成4年度以来の好数値を示すなど、財政状況は着実に改善し、安定したものと

平成17年4月に整備する。さらに、港区生活安全協議会等を通じて、区民、事業者、警察等との連携・協働を一層進める。

指定管理者制度について

質問 利用者に対するサービス向上と施設の効率的な運営を図るため、昨年の地方自治法改正により指定管理者制度が創設され、株式会社やNPO法人が区の施設を管理できるようになった。

(1)区長は指定管理者制度をどのように活用するののか。(2)導入の時期はいつ頃か。

答弁 基金は、施政方針で示した施策の早期実施や将来的な先行投資事業の財源として積極的に活用する。

答弁 (1)各施設の目的・特性と区民の意見を十分踏まえた上で、区の施設における効率的で質の高い行政サービスのために活用する。(2)現在、管理委託を行なっている施設については、原則として平成18年8月までに指定管理者制度を導入する。

安心して暮らせる港区の実現を

質問 わが国の刑法犯の発生は平成7年度から増加の一途をたどっている。また、テロや災害、感染症による健康危機など、区民は様々な危機の可能性にさらされている。区長は、区民の生命と財産を守り、安全で安心して暮らせる港区をどのように実現する意向か。

答弁 区の危機管理組織や体制を

が重要だと考える。こうした事情を踏まえ、区の第三期介護保険事業計画をどのような考えで策定するのか。

答弁 平成17年度に策定予定の第三期介護保険事業計画は、介護予防事業など国における法改正の動向を踏まえながら、高齢者向けの保健事業など介護保険外の事業との連携も視野に入れる。

子育て支援策について

質問 「子どもは社会の宝である」と言われる。子どもは、将来の地域社会を担うとともに、地域の活性化につながる大切な存在である。その意味で、区の子育て支援策は大変重要である。港区は、地価の下落傾向と定住施策の効果もあいまって、区内に子育て世代が増え子どもの数は年々増えている。しかし、都市化が進んだ結果、子どもたちの遊び場は少なくなっている。また、健全育成上好ましくない繁華街などの存在は、港区に住む子どもたちにとって良質な環境とは言えない。子どもたちの健全育成のため、港区にふさわしい子どもの「居場所づくり」が必要。赤坂子ども中高生プラザ「なんでも」は、「居場所づくり」の一つのかたちである。「なんでも」は、港区の児童施設で初めての民間委託施設であるとともに、特別養護老人ホーム「サン・サン赤坂」が同じ建物に併設されている点に特徴がある。そこで、(1)民間事業者に見



▲赤坂中高生プラザ「プラザ赤坂なんでも」

認証保育所保育料の補助制度充実を

質問 全国的に少子化が進む中、先日発表された特殊合計出生率で港区は23区中最低と低水準であったが、少子化対策を進める上で、区は多様化する保育ニーズの変化に応じて保育所や保育所制度を柔軟に見直すことが求められている。港区の保育所待機児童は、ここ数年で減ってきているものの、まだ34名を数える。区内に8園設置されている都心型認証保育所は、制度発足して日も浅い施設だが、新しいタイプの保育所として定着しつつある。しかし、区立保

育園に比べ保育料が高いとの保護者の声があり、港区での認証保育所の在園率は6割程度と聞

く。港区でも今年度から低所得者に認証保育所の保育料を補助しているが、今後補助を充実していく考えはあるか。

答弁 待機児童解消に向けての取り組みに当たっては、認証保育所の活用が重要。認証保育所保育料の補助制度については、これからの利用状況を検証しながら平成17年度に向けて制度内容の充実を含め検討していく。

低年齢層の犯罪事件を予防するには

質問 つい数年前までは中学生による凶悪犯罪が社会問題化していたが、最近小学生までが事件の加害者となっている。こうした事件の背景として、インターネットの掲示板やチャット、テレビや映画、小説などの殺人シーンを指摘することができ

るが、これらを子どもたちの前から排除することだけでは根本的な解決にならない。集団生活の中で自制心や社会性を育てることが重要。少子化の進んだ現在では、同世代の子どもたちと触れ合える学校生活がとりわけ大きな役割を担っている。多発する低年齢層の犯罪事件をどのように考えるか。

答弁 現状を大変憂慮している。対策として、教育活動全体を通じて道徳教育を行うとともに、社会性を高める体験活動を取り入れ、子どもたちが社会の一員としての役割を主体的に学べるよう、各学校を指導する。

歳入・歳出のバランスを適正にし安定した財政基盤の維持を

公明党議員団

質問 安定した財政構造維持のためPFI等の活用を視野に入れた財政運営が重要と考えるが、

安定した財政基盤を維持しつつ多様な行政需要に積極的に対応していく。

質問 (1)清掃事業の円滑な移管のためにも、第4回定例会で勤務条件に関する条例の制定を。(2)区の現業部門と清掃事業の任用・給与制度は現実的な解決を。

答弁 (1)特別区長が職員団体と協議中。協議が整い次第、条例提案をする。(2)任用制度は区の現業系職員と同一を指し、給与制度は、処遇総体の水準低下を招かないよう配慮する。

質問 (1)来年4月から小中学校に置かれる栄養教諭は、その配置について東京都の判断に委ねられているが、港区の考えは。(2)食育のための、全庁横断的なネットワークづくりが必要と考え

るが、(3)食育と「次世代育成支援対策推進法」に基づく行動計画との関連づけについて。

答弁 (1)栄養教諭制度は、食に関する指導を一層推進するために望ましいと考えられる。(2)関係担当者連絡会を本年10月に設置する。(3)次世代育成支援行動計画に掲げる目標を実現するための施策の一つとして食育の推進をあげ、積極的に取り組んでいく。

質問 (1)保健師を子育て支援に関与させ、その役割・業務内容を広く区民に啓発、周知徹底すべき。(2)保健師の機能を保健指導のみの家庭訪問にとどめず、育児相談等業務や関係機関との連携業務を加えるべきでは。(3)子育てに悩んでいる保護者のために、保健師などの専門職を「子育て推進課」に配置しては。(4)家庭にむかって保護者を手助けする「訪問型一時保育事業」を実施すべき。(5)シルバー人材センターを活動拠点として活用し、

以上の点を踏まえ、選択校の範囲を現行の隣接校にとどめず、区全体に広げるべきでは。また、港区の学校選択制の状況は。

答弁 学校選択希望制の結果については、引き続き検証していく。また、小学校の学校選択の範囲は、地域的にわかりの深い隣接校とし、今年度、小学校では約25%の新生児児童が通学区域外の学校を選択している。

質問 (1)来年4月から小中学校に置かれる栄養教諭は、その配置について東京都の判断に委ねられているが、港区の考えは。(2)食育のための、全庁横断的なネットワークづくりが必要と考え

るが、(3)食育と「次世代育成支援対策推進法」に基づく行動計画との関連づけについて。

答弁 (1)栄養教諭制度は、食に関する指導を一層推進するために望ましいと考えられる。(2)関係担当者連絡会を本年10月に設置する。(3)次世代育成支援行動計画に掲げる目標を実現するための施策の一つとして食育の推進をあげ、積極的に取り組んでいく。

質問 (1)保健師を子育て支援に関与させ、その役割・業務内容を広く区民に啓発、周知徹底すべき。(2)保健師の機能を保健指導のみの家庭訪問にとどめず、育児相談等業務や関係機関との連携業務を加えるべきでは。(3)子育てに悩んでいる保護者のために、保健師などの専門職を「子育て推進課」に配置しては。(4)家庭にむかって保護者を手助けする「訪問型一時保育事業」を実施すべき。(5)シルバー人材センターを活動拠点として活用し、

以上の点を踏まえ、選択校の範囲を現行の隣接校にとどめず、区全体に広げるべきでは。また、港区の学校選択制の状況は。

答弁 学校選択希望制の結果については、引き続き検証していく。また、小学校の学校選択の範囲は、地域的にわかりの深い隣接校とし、今年度、小学校では約25%の新生児児童が通学区域外の学校を選択している。

質問 (1)来年4月から小中学校に置かれる栄養教諭は、その配置について東京都の判断に委ねられているが、港区の考えは。(2)食育のための、全庁横断的なネットワークづくりが必要と考え

るが、(3)食育と「次世代育成支援対策推進法」に基づく行動計画との関連づけについて。

答弁 (1)栄養教諭制度は、食に関する指導を一層推進するために望ましいと考えられる。(2)関係担当者連絡会を本年10月に設置する。(3)次世代育成支援行動計画に掲げる目標を実現するための施策の一つとして食育の推進をあげ、積極的に取り組んでいく。

高齢者の経験と能力を活かした子育て支援の事業を展開すべき。

港区の観光事業について
(1)港区の伝統工芸を身近に感じることのできる体験型観光ルートの開発について。

港区の観光事業について
(1)魅力ある体験プログラムを作成を進める。

健康増進施設等の相互利用促進を
(1)港区に隣接する区との間で健康増進施設等の相互利用を促進するための協議を再度要請する。



▲港区スポーツセンター

学校と教育について

子どもたちの心のケアを図るため区内の全小中学校に配置されているスクールカウンセラーの効果と今後の課題、取組みについて。

福祉・教育施設を大企業のもうけの道具にするな

共産党議員団

PFI事業の導入はやめよ

住民福祉の向上を投げ捨て、福祉や教育を大企業のものにしようとするPFI方式での三田中学校建設はとりやめよ。



▲改築予定の三田中学校

指定管理者制度について

三田中学校のPFIは、導入可能調査を進めている。導入を検討する。ガイドラインに基づき、適正に進める。

指定管理者に、民間企業を開かれた学校運営や教育環境を築いていくため、保護者や地域住民が参加する「学校運営協議会」の設置が必要と考えるが。

介護保険制度の充実について

ホームヘルプサービス6%の利用者負担は国が継続しない場合、区施策として継続を。区の独自施策として現在行っている3%負担を継続すること。

学校と警察の連携について

子どもの人権・プライバシーを侵害し、警察の学校教育への介入を許すような「警察と学校との相互連絡制度の協定」はやめるべき。

30人学級を実現せよ

先進自治体の成果・調査結果をみても、少人数学級の優位性は明らか。区長の見解は。

指定管理者に、民間企業を開かれた学校運営や教育環境を築いていくため、保護者や地域住民が参加する「学校運営協議会」の設置が必要と考えるが。

平和のとりくみについて

被爆60周年、港区平和都市宣言20周年を迎える来年を、平和を願う区民の声を結集し、それにふさわしい取り組みを。

防衛庁跡地開発について

区立檜町公園の整備についてワークショップ方式で整備計画が検討された。形は「区民参加」だが、結論は三井不動産の描いた整備計画にしたのでは。



▲都立青山公園にある米軍ヘリポート

超高層ビル建設に歯止めを!

ヒートアイランド現象の一因となっている、汐留、品川駅周辺の巨大ビル群の事業者に対して事業者責任を明確に求め、現時点での総合アクセスを実施させるべき。

区民向け住宅の建設と家賃軽減を

区民向け住宅の建設を。(1)区民向け住宅の建設。(2)区営住宅の建て替えによる戸数増を早期に実施すべき。

平和に関する取り組みについて

民主クラブ

麻布米軍ヘリポートについて
8月13日に沖縄県宜野湾市でおきた米軍ヘリコプターの墜落事故は、記憶に新しい。区民の生命を守ることが区長の第一の責務であり、区内にある麻布米軍ヘリポートの不法占拠状態の解消、また、早朝から深夜に及ぶ飛行を止めるようアメリカ

核実験に対する抗議要請について
核保有国が競うかのように核実験を行うことは、世界平和を脅かし、核廃絶という世界の人々の願いに反する。港区議会は、今後、核実験実施国に対し抗議の要請書を提出すべき。

平和都市宣言20周年事業について

来年の8月15日は終戦60周年と同時に、港区平和都市宣言20周年にあたる。そこで、広島と長崎で被爆したアオギリとク

(4ページ下段より続く)

スノキの二世を、区内にも植樹できないか。

答弁 記念事業の一環として取組む。

ヒートアイランド現象の解消

質問 港区では、超高層ビル街が海風をブロックし、他の地域より2〜4℃も気温が上昇し、ヒートアイランド現象が深刻化している。廃校になった鞆絵小学校を利用し、ヒートアイランド現象を少しでも解消する方策を考えるべき。

答弁 現在計画中の「新エコプラザ」では、区民やNPO等と協働し情報の収集や調査研究を行うなど、実践的なヒートアイランド現象の対策に取組む。

高齢者施設建設基金の活用について

質問 介護保険制度は導入後5年目を迎え、介護保険法の見直しの動向を踏まえると、施設入所者は介護保険給付の自己負担のほか、ホテルコストも負担しなければならぬ。港区の地価の高さがホテルコストに反映されては、一般区民が排除されてしまう。そこで、基金を建設費だけでなく、土地取得費に対しても補助しては。

答弁 基金には、土地取得費への補助は含まれていない。介護保険法改正による、ホテルコストへの影響は不確定だが、区有地を貸付ける等、適正なコストの設定が可能となるよう対応する。

赤坂中学校校内通路について

質問 赤坂中学校の校内通路を再開発地域と結び歩行者通路にすること、また、檜町公園にあつた弓道場の老朽化による撤去については、関係者、利用者に説明をし理解を得る事が大前提である。鋭意関係者への説明に徹

し、理解に努めるべき。

答弁 赤坂中学校PTA等地域の関係者への説明については、教育委員会と街づくり推進部が協議する場を設ける。今後、学校の安全の具体策を示し十分理解いただくよう努める。

生活安全について

質問 この10年で治安が著しく低下したとの声が聞こえる。施政方針で危機管理体制の機能強化や組織統合にふれているが具体的な説明を。

答弁 平成17年4月に危機発生時に即応できる組織、区民にわかりやすい組織として整備する。

学校給食の民間委託について

質問 学校給食の委託は今年度から一部の学校で導入された。しかし、その委託先がすべて港区外で大企業。区内業者の発掘は、区民協働の具現化だと思ふ。今後は、区内の業者を採用していくとともに、食材は、区内の個人商店から引続き購入すべき。

答弁 委託業者の選定は、プロポーザル方式等により契約。区内業者優先も考慮していく。また、食材についても区内業者からの購入に努めていく。



区政の民主的な運営を!! 都区財政調整制度の改革を!!

オンブスマンなど二票の会

質問 最近「区民が主役」という言葉を、職員の声や書籍等で良く耳にする。果たして実際に主役になっているのでしょうか、

答弁 広報紙、出前講座等で情報を提供し、区民との懇談会、区政モニターアンケート等により、区民の意見を伺っている。更に、ワークショップや検討会、協議会等へ区民が参加しやすい仕組みをつくることも、職員がまちに出向き、区民との対話や情報交換を行う事で、区民の意向を的確に反映させるよう努める。

区政の透明性の確保について

質問 区民の税金を使って区の運営にあたるのだから、区民はすべてを知る権利がある。各種委員会、審議会の人選にあたって公募のないところは不透明であり、区民にはまったく見えない。庁議も公開する考えがあるか。

答弁 施政方針で示したとおり、広く区民の意見を聴き、施策に反映させる仕組みをより一層充実させ、区政の透明性を高めていく。庁議は、行政の責任において政策的論議を行う場であり、公開することは考えていない。

都区財政調整制度の改革について

質問 港区は15年度に引続き普通交付金の交付がゼロ。財政調整交付金の原資は、市町村民税法人分、固定資産税、特別土地保有税だが、毎年、港区内で合計2千億円を超える額が収入され、これほどの税金が区民には還元されない仕組みとなっている。制度自体の抜本的な改革が必要。

越境入学のかかえる諸問題について

質問 大規模な小学校では、越境入学の児童が多数通学していると言われ、多くの場合区民税等の納入義務が生じず、受益と負担の関係が問われている。また、事故が多い、教育上も児童・教師の良好な関係が築きにくいなどが考えられる。実情を把握し是正に向けた方策を具体化せよ。

答弁 特別の事情がなく、区外からの就学が明らかになった場合、居住地の学校に就学するように求めていく。来年度の新入学予定者については、学校公開や学校説明会等の際に徹底する。

罰金をとらない 「みなとタバコルール」の方向性で

モデル地域を拡大せよ!

みなとかがやき

質問 「みなとタバコルール」の方向性を堅持し、モデル地域を拡大せよ。

答弁 罰金をとらない姿勢に基づき、モラルの向上を目指してモデル地域を拡大する。

ネットワーカーみなと社民

質問 (1)区立図書館の基本計画を策定し、図書館の目指す方向を決めるべきだが、(2)区民の声を積極的に反映させるため、図書館協議会の設置を。(3)5つの地域館では、地域性を生かした地域密着型の図書館運営を。(4)区内の大学と提携や地元中小企業へのビジネス支援、子どもの視点にたったサービス、高齢者・障害者や外国人へなど図書館サービスの充実を。(5)図書館は司書によるレファレンスサービス等の充実が、初めて多様なサービス展開ができる。港区立図書館もハイブリット・ライブラリー化や幅広いサービスの提供が可能な魅力ある図書館に。

高齢者虐待防止や支援について

質問 高齢者虐待防止や支援について総合的な施策展開を。(7)高齢者等の災害要援護者への援助体制やリスト作成・安否確認等などのシステムと体制の整備を。(8)区立公園の機能回復とホームレスの自立支援対策を。

質問 小・中学校の危機管理対応を充実させよ。

答弁 より実践的な訓練を行うとともに、関係団体と協議する。

質問 動物飼育は、命の大切さを教える教育的効果が大きいと思うが、どう考えるか。

答弁 学校で生き物を飼い、継続的に世話をする事で、情緒の安定が図られたり、生き物を大切に思う心が育つたりする効果がある。子どもたちの心を耕すうえで教育効果は大きい。

魅力ある区立図書館について。高齢者虐待や災害対策への総合的施策展開は。安心してできる公園とは。

高齢者施策の推進を!! ケーブルテレビ加入 環境の整備と魅力がある番組づくりを!!

仲間へ勇気の会

質問 65歳以上の港区民は現在約18%で高齢化社会が進行している。一方ハード面の不足など課題は山積。港区における高齢者問題に対する区長の認識は。

答弁 区政の最重要課題の一つ。介護予防事業の推進、在宅介護サービスの充実が必要。さらに高齢者が地域で安心して住み続けられるために環境整備が必要。

高齢者問題解消に向けての施策展開および優先順位は。

答弁 高齢者施設整備を計画の前倒しで進める。介護予防事業を推進し、区独自の質の高い在宅介護サービスを実施する。

災害情報や議会で中継の放送をより充実させてほしい。

答弁 身近で実用的な番組は私も必要だと思う。現在、魅力ある番組づくりについて検討中。

質問 電線類地中化がケーブルテレビ加入工事費増となり、加入を阻害しないよう対応を。

答弁 ケーブルテレビジョン東京と十分調整し、加入者の負担増とならないよう要請していく。

質問 ケーブルテレビ加入率は現在約57%で、加入工事費助成制度の利用も予想より少ない。加入しやすい環境づくりが必要。

答弁 受信可能地域拡大、助成制度の普及と併せ、ケーブルテレビジョン東京へ対策を要請する。

代表・一般質問

前頁から続く

決算特別委員会

9月17日の本会議において、全議員33名で構成する「平成15年度決算特別委員会」(林田委員長、井筒副委員長、北村副委員長)を設置し、9月24日から10月5日まで審議が行われました。

特別委員会では、平成15年度各会計(一般会計、国民健康保険事業会計、老人保健医療会計、介護保険会計)歳入歳出決算の4案に対する活発な質疑を行った後、各会派の態度を表明しました。

その後、第3回定例会最終日の10月6日、本会議において、決算4案をそれぞれ賛成多数で認定しました。

各会計決算の概要

会計別	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引残額
一般会計	856億1,618万円	768億4,570万円	87億7,048万円
国民健康保険事業会計	148億8,977万円	145億7,948万円	3億1,029万円
老人保健医療会計	141億1,375万円	141億1,375万円	0円
介護保険会計	75億7,766万円	75億3,617万円	4,149万円
総計	1,221億9,736万円	1,130億7,510万円	91億2,226万円

表示単位未満四捨五入

各会派の主な質問・要望事項

自民党議員団

歳入◎収入未済額と不能欠損について総務費◎専門職の確保について◎支所改革の内容に、危機管理、区民の安全確保はどのように反映するのか◎社会的基盤整備費の後年度負担の考え方◎区債の繰上償還について◎区民税の徴収と滞納対策について◎電子入札制度の進捗状況について◎旧三河台中学校跡地の活用について◎都区制度改革における清掃職員の身分等について◎伊豆健康学園の今後の経過環境清掃費◎環境施策の課題と展開について◎民生費◎地域拠点型高齢者施設計画について◎衛生費◎救急医療・災害時の医療対策に

ついて◎小児救急医療体制の現状と課題◎保健所建替え構想の中に、三師会の意見を◎青少年の感染予防について◎産業経済費◎区内共通商品券について◎新旧債務の一本化の実績について◎融資と積立金の預託について◎土木費◎コミュニティバス運行の充実について◎芝浦地区のまちづくりについて◎河川等の区としての規制緩和策と都市景観について◎電線地中化を推進する財源と課題について◎都の「しゃれた街並みづくり推進条例」の区への影響◎芝公園の歩道について◎教育費◎文化財行政について◎新郷土資料館の建設について

◎学芸員の充実について◎檜町公園弓道場について◎区立小・中学校の配置計画並びに教育環境のあり方◎青少年の性の問題について◎教科書選定における基本的な考え方◎幼保一元化施設の簡素で効率的な運営について◎技能系職員について◎私立幼稚園保護者への支援について◎芝公園グラウンド、テニスコート等の取得について◎介護保険会計◎介護サービスの基盤について◎介護事業者による不適切なサービスの有無◎介護給付の適正化事業について

公明党議員団

(歳入) 株式譲渡にかかる税額・経常収支比率・予算の執行率(総務費) 職員定数配置計画・公会計における複式簿記の導入・港区職員住宅・行政評価制度・政策評価制度(環境清掃費) 環境保全の行政計画の見直し・本格施設のエコプラザ(民生費) 長寿を祝う集い・住宅改修事業・生活保護制度の相談体制・在宅介護サービスの質の向上・介護予防事業の今後・介護保険制度の見直し・痴呆予防の取り組み・子ども中高生プラザ「なんでも」について(衛生費) 脳ドック検診事業の助成実施・元氣(食)MINATO事業・食育の推進(産業経済費) 産業振興プランと活性化計画・財団法人港区勤労者サービス公社のあり方(土木費) 公共施設の駐輪対策・港区の地籍調査の今後・都営住宅の建替えと移管・電線の地中化整備・緑化の行政計画の見直し・屋上緑化の推進(教育費) 図書館のICTタグの活用・文化芸術振興条例・学校の安全対策・良い学校とは・学校教育と家庭教育(総括質問) 今後の財政運営・都区財政調整制度・電線地中化に定住基金の活用を・地籍調査の課題・介護予防の取り組み・児童虐待防止・子供の安全対策・港区ホームページのバリアフリー化

共産党議員団

◆縮小・削減した福祉施策の復活を◆トップクラスの財政を区民のために◆本会議などCATVで放映◆防災無線の難聴対策◆被爆60周年にふさわしい取組み◆ヒートアイランド対策の具体化◆電波障害対策◆可搬ポンプ積載車を消防団全分団に◆障害者雇用の拡大◆中学生まで医療費無料化◆希望する高齢者に「ちいバス」無料券を◆通園通学の送迎も支援費制度で◆保育園の民間委託はやめよ◆障害者の売店・喫茶の利用促進PR◆保育園の修繕要望に応えよ◆福祉会館のカラオケを新しい機器に◆シルバー人材センターの支援強化を◆区立小児診療所◆成人健診対象者に受診票郵送を◆商店を訪問し要望を聞き施策に◆プレミアム商品券事業に支援を◆都市再生にストップ◆再開発への補助金支出はやめよ◆横断歩道信号の時間延長◆交通不便地域にコミュニティバスを◆校庭・園庭の芝生化◆就学援助引上げ◆30人学級の実現◆特別教室・幼稚園にエアコンを◆学校と警察の連携・協定はやめよ◆学校プールに温水シャワー◆図書館の民間委託はやめよ◆芝公園グラウンドを港区に移管を◆国保の港区独自の減免制度を◆介護保険ホームヘルプサービスの3%軽減の継続

民主クラブ

【総括質問】今後の区政改革の取り組みについて。「住み続けられる港区」について。区長が港区に住んでの感想。三田中学校のPFI。炭酸ガス削減について。救急車の適正利用。古紙等資源の抜取り対策。麻布十番公共駐車場の経営状態について。麻布狸穴町麻布永坂町の住居表示の変更は終了を。【歳入】住民登録をしていない居住者に対する住民税の徴収について。【総務費】支所機能の強化。治安と安全。職員の育成計画について。指定管理者制度について。入札制度について。小諸高原学園について。東京国際映画祭について。衆参選挙における「自由党」表記に関する総務省通達について。【民生費】少子化対策について。総合的な介護予防システム。旧桜川小養護施設建設について。【土木費】ドッグランの設置を！電線地中化について。自転車の歩道通行。【教育費】図書館の民間委託について。学校跡地について。教育センターについて。港区独自の教育施策について。

オンブズマンみなと・一票の会

【歳入】▼都区財政調整制度の見直し【総務費】▼事件・事故報告の情報公開のあり方▼各種審議会の運営方法のあり方▼随意契約のあり方▼米軍ヘリポートの撤去を▼区民参加条例の制定▼都営住宅入居職員の住居手当▼男女平等参画事業は区民協働を推進すべき【環境清掃費】▼生ごみ対策の取組み▼容器包装リサイクル法に基づく業者責任に関する施策は【民生費】▼シルバー人材センターの事務経費のあり方、決算報告と監査役が発言▼区設掲示板の委託料と仕事内容▼福祉会館のあり方の中間報告は【産業経済費】▼不立請求の実態【教育費】▼小学校における暴力事件に対する校長の対応【国保会計】▼保険料の設定方法の問題点▼未納者への取組み

平成15年度



監査委員の審査意見(要旨)

景気低迷が続き厳しい財政状況にある自治体が多い中で、本区は、財政構造改革指針等による取組みと特別区民税の増収により、平成15年度は引き続き健全財政を維持した。

歳入の大宗を占める特別区民税は、都心回帰による人口増などにより平成12年度以降増収してきたが、今後の収入動向を注視する必要がある。「三位一体改革」の影響の内容も不透明であり、引き続き内部努力に努め財政基盤の安定を図ることが肝要である。

その上で、財政危機を脱し、財政状況も好転した今こそ、将来の財政負担を的確に把握しつつ区民が求める課題への取組みが実感できるよう、迅速・柔軟かつ効果的な財政運営が強く求められる。「最少の経費で最大の効果」という原則を踏まえ、基礎的自治体としての使命を果たすよう期待する。

各会派の主な質問・要望事項

港区民クラブ

【総務費】◎区役所・支所改革費 ◎特別養護老人ホームの待機者解消の取組みを「土木費」住民票等自動交付機の設置場所 ◎電線類の地中化については、の拡大を、相談窓口のプライバ 区民に内容を説明し事業の推進シーの確保を、職員がまちへ出 を「教育費」◎各学校を支援し、ての訪問調査について) 【民生 特色ある学校づくりの推進を

みなとかがやき

算数・数学教育を充実させよ! 職員の意識改革が必要。不登校調査委託は十分な検証を行なっ 児対策の充実と、「つばさ教室」てから実施せよ。補助金の有効 への支援拡大を。行政評価制度適切な活用を図れ。施設保全シ を人事・予算に反映させるよう、ステムを早期に完成せよ。街を 全庁的に取組め。経常収支比率清潔できれいにするには、まず の目標比率を示す時期だ。

ネットワークみなと社民

総務費 区民の安全確保のため、 民の寄贈本やリサイクル図書な警察や消防と連携し、議会や区 ど図書館での本の循環型サービ民に情報提供を。 【民生費】障害者 スの確立を。(2)学校給食の牛乳施策に当事者の声の反映を。 を来年度もビンで提供を。(3)運土木費 区民が利用しやすい、清 動場の当日キャンセルを、区民潔な公衆トイレを。 【教育費】(1)区 が有効活用できる方法の検討を。

仲間へ勇気の会

●台場の自治会のない棟へフォ 愛護への取り組み強化、ペットローを。防災訓練他町会・自治 のしつけ方講習会を。アトピー会の活性化支援を ●高齢者配食 にやさしいプール水を ●ドッグサービス、介護保険サービス第 ラン設置を。台場、芝浦、港南の三者評価の充実、高齢者の賃貸 利便性向上を。JR泉岳寺駅整住宅入居支援を ●地域猫、動物 備時、東西連絡道路等の要望を

平成15年度 決算に対する 各会派の態度表明

平成15年度決算は、これまでの財政運営の健全化に向けた取組みが実を結び、経常収支比率が11年ぶりに60%台となるなど、着実に財政改革が進んでいるということを認識し高く評価します。引き続き確かな財政運営を行うことを強く要望し、平成15年度決算4案についてはいずれも認定いたします。

自民党議員団

決算審議の中でわが会派より述べました意見・要望・提案・指摘につきまして、武井区長初めての予算編成となる17年度予算に十分反映される事を強く要望いたします。平成15年度決算4案につきましては、いずれも認定いたします。

公明党議員団

区民の深刻な生活実態を示し、第一段階高齢年金受給者の介護保険料軽減、少人数学級編成、就学援助の拡大等切実な要求実現を提案したが、拒否。保育園や学校などからの切実な施設改善要望も多くを送り。その一方、大企業への再開発は多額な補助金支出。区民不在の決算は認定できない。

共産党議員団

平成15年度決算特別委員会での民主クラブからの要望・質問事項が、平成17年度予算編成ならびに今後の区政運営に反映されるようお願い致します。「住み続けられる港区」が実現することを切望して、平成15年度決算4案はいずれも認定します。

民主クラブ

オンブズマンみなと・一票の会

前原田区長時、予算案の一般会計を認定しておりません。決算についても認定することは困難です。何よりも無理(な予算)無駄(な契約)無用(な事業)の3無が存在する散漫、粗雑な決算です。特に入札・随契等の談合を思わせる入札率の高さ、不用不急な契約は行政の不作為です。他3案は認定。

港区民クラブ

「誰もが誇りに思えるまち・港区」実現のためには、基本計画事業の前倒しや、将来予測に基づいた積極的な計画の具体化が不可欠。決算審議の中で質問・要望した、区民ニーズに応えた区役所・支所改革の実現、特色ある学校づくりなど、新年度予算に反映されることを要望し、決算4案は認定する。

みなとかがやき

前区長の政治姿勢に対して反対の立場をとってきたため、前区長の提案した平成15年度予算には反対した。論理的整合性を維持するため、決算も認定しない。ただし、現区長の区政に対する区民の信頼を取り戻そうとしている姿勢は評価する。国保・老保・介護保険会計の3案については、認定する。

ネットワークみなと社民

区民の合意を前提とする行財政改革と区税増収の財源を、区民福祉の向上に繋がる積極的な政策を打ち出し、「区民が主役」の行政サービスの充実を期待します。審議での多くの要望や提案をしてきました。これらを是非、今年度または来年度の予算で実現すること強く要望し、決算4案を認定。

仲間へ勇気の会

仲間へ勇気の会として決算審議を通じて意見・要望・提案いたしました事項が、今後十分反映されることを要望し、決算4案を認定いたします。財政状況の良い今こそ、慢心せず、無駄を省き、区民要望の高い施策を大胆に実行していくことが求められます。区民要望の確かな把握を望みます。

議案等の審議結果

各会派の態度 ○…賛成 ×…反対

※略称 オンブズマンの会…オンブズマンみなと・一票の会
ネットみなと社民…ネットワークみなと社民

案件名	自民党議員団	公明党議員団	共産党議員団	民主クラブ	オンブズマンの会	港区民クラブ	みなとかがやき	ネットみなと社民	仲間へ勇気の会	議決結果
港区高齢者福祉施設等整備基金条例 (「港区高齢者福祉施設等整備基金」の設置)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
港区自転車等の放置防止及び自転車等駐車場の整備に関する条例の一部を改正する条例 (白金高輪駅自転車駐車場の設置及び規定の整備)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
港区立保育園条例の一部を改正する条例 (麻布保育園改築工事に伴う所在地の変更)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
港区女性福祉資金貸付条例の一部を改正する条例 (修学資金及び就学支度資金の一部について貸付限度額の引き上げ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
災害時において応急措置の業務等に従事した者に係る損害補償に関する条例 (応急措置の業務等に従事した者の損害補償の基準等について規定の整備)	○	○	×	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成16年度港区一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成15年度港区一般会計歳入歳出決算	○	○	×	○	×	○	×	○	○	認定
平成15年度港区国民健康保険事業会計歳入歳出決算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	認定
平成15年度港区老人保健医療会計歳入歳出決算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	認定
平成15年度港区介護保険会計歳入歳出決算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	認定
臨海部広域斎場組合規約の変更に関する協議について (組合事務所の所在地の変更)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
都市計画税の軽減措置の継続につき意見書の提出を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採 択
小規模非住宅用地の固定資産税・都市計画税の減免措置の継続につき意見書の提出を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採 択
小規模非住宅用地に係る固定資産税の20%減税の継続・拡大を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採 択
白金台3丁目住宅地でのマンション「(仮称)メゾンヴェール白金」の建設計画にあたって、事業主、施工業者に住民と話し合いを持つよう求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採 択
青山地域の電線地中化を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	×	○	採 択
赤坂中学校の安全な教育環境を守るための請願	×	○	○	○	○	○	○	○	○	採 択
私立幼稚園保護者の教育費負担軽減に関する請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採 択
日本歯科医師連盟からのヤミ献金事件の徹底解明を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
固定資産税・都市計画税の軽減措置の継続を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
米軍ヘリポート基地の使用中止および早期全面撤去を求める要望書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
区内内消防団に可搬ポンプ積載車の配備を求める要望書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
障害者支援費制度の安定的な財源確保を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
港区収入役の選任の同意について(渋川 典昭氏)	○	○	×	○	○	○	○	○	○	同 意
港区教育委員会委員の任命の同意について(高橋 良祐氏)	○	○	×	○	○	○	○	○	○	同 意



議会はどこなたでも傍聴できます

区議会の会議は、公開されています。本会議、委員会とも傍聴できますので、ぜひお出かけください。

本会議は議会棟6階の傍聴席入り口で、委員会は各委員会室で傍聴者名簿に住所・氏名・年齢をご記入の上、傍聴席にお入りください。

傍聴を希望される方は、当日の会議予定を区議会事務局にご確認の上、お出かけください。

◎問い合わせ
区議会事務局議事係
電話(3578)2111
内線 2915~2917

議会HPへアクセスしてみませんか

区議会の役割や、「請願・陳情」の書き方・提出方法、会議の傍聴手順などをわかりやすく掲載しています。また、区議会だよりのバックナンバーや、会議録(各定例会の本会議、予算・決算特別委員会)の閲覧・検索もできます。お子様向けには、ジュニア版も掲載していますので、みなさんそろってクリック!!



区議会のアドレスは
<http://www.gikai.city.minato.tokyo.jp/>

各会派の連絡先

自民党議員団	(3578) 2927
公明党議員団	(3578) 2935
共産党議員団	(3578) 2945
民主クラブ	(3578) 2938
オンブズマンみなと・一票の会	(3578) 2969
港区民クラブ	(3578) 2925
みなとかがやき	(3578) 2928
ネットワークみなと社民	(3578) 2940
仲間へ勇気の会	(3578) 2926
不在の場合は区議会事務局 (3578) 2920へ	

あとがき

新潟県中越地震により不幸にして犠牲となられた方々のご冥福と、被災地の日も早い復興をお祈りし、区議会では、全議員でお見舞金を集めお届けしました。

▼次回の定例会は、11月に開会される予定です。

編集委員

山越 明
菅 弘一
熊野 ちづ子
秋元 ゆきひさ
矢野 健一郎
林 雄

第3回定例会
会議日程

9月16日 運営委員会 本会議
会期決定 諸報告
一般質問 5名

17日 本会議 運営委員会
一般質問 5名
議案等付託 決算特別委員会の設置

21日 常任委員会
議案等の審査

22日 常任委員会
議案等の審査

24・27・28・29・30日 決算特別委員会

10月1・4日 決算特別委員会

5日 運営委員会 本会議
会期延長
決算特別委員会

6日 常任・特別委員会
委員長報告、中間報告
運営委員会 本会議
議案等議決